



高木瀬小学校 学校だより

第3号
R7.6.4発行
文責:橋口

運動会へのご協力ありがとうございました

5月25日(日)は、たくさんの学校サポーター(保護者)の見守りと応援のもと、大きな事故やけがもなく無事に運動会を終えることができました。参観者用のテントを設けることができなかったためご不便をおかけしたことと思います。それどころか、あまりの混雑で、お子さんの活躍の様子をご覧になることもカメラに収めることも難しかったのではないかと思います。そのような状況でも、ほとんどの方がマナーを守って皆さんで譲り合ってくださいました。皆さんのご協力のおかげで、本校ならではのダイナミックな運動会にすることができました。心から御礼申し上げます。

子どもの主体性を育むということ

「今年の運動会は子ども達の笑顔が多かったですね」と来賓からコメントをいただきました。「させる運動会」「見栄えを求める運動会」ではなく、「子ども達のための運動会」「子ども達の思いや意見を尊重する運動会」へと本校職員が改革を行ってきたことが形になりました。

3年生の「エビカニミクス」のパフォーマンスはトップバッターに、ふさわしく大いに会場を盛り上げてくれましたし、1年生の会場に響き渡る元気いっぱいの開会宣言は会場の気持ちを一つにしました。運動委員会のピシャっとしたラジオ体操が全校の手本となり、ラジオ体操も見事でした。曇天を吹き飛ばすオープニングセレモニーに感動しました。

今年度は、昨年度にも増して子ども達への指示や指導を減らしました。5年生は実行委員会を立ち上げ、団体競技種目まで子ども達に任せて教師は援助を行っています。運動や集団行動が苦手な子ども達には参加の仕方を考えさせました「途中から走りたい」「ダンスは覚えられないけれど旗は練習して参加したい」「見学ならできる」等、その子たちの主体性を大事にしました。結果、どの子も落ち着いて自分なりの参加ができ、運動会後はどの子も満足気な表情を見せっていました。

学校教育目標にも掲げているとおり、これからの中未来社会をしなやかに生きぬくための力の一つが主体性です。「どういう運動会にしたいのか」、「自分は何を目指として取り組むのか」等、自分で考え、自分で決める資質能力が「主体性」です。人は自分で決めたことは頑張ろうとしますし、できた時は本人の自信になります。うまくいかなくても人のせいにはできないので、そこから学びを得ることができます。

今年度は日常のあらゆる教育活動で、子ども達の「主体性」を育むことを大事にしていきます。

感動で胸がいっぱいになりました～父親委員の姿～

前日の雨により、当日朝の運動場には何か所も水たまりがありました。天気予報から想定はしていたので、職員は当日6時半から運動場の整地を行うこととしていました。ところが、職員よりも早くたくさんの父親委員の皆さんのが運動場に集まってくれたり、水抜きを始めてくださっていました。ウレタンスポンジに水を吸わせてバケツで側溝まで運び、さらに砂場の砂を地面のぬかるみに入れるという原始的な方法のため、何より人手が必要でした。約50名の父親委員さんの力強い支援が本当に助かりました。

運動会が始まった後も父親委員の皆さんには、不審者対策の巡回や駐輪場のお世話、車両進入対策も担っていただきました。「子どもが運動会ばしやすかごとすとやっけん、子どものためやんね。生ナナナからお礼言われるとはおかしかさ」と言われた方、「何かしたかったけん、役に立ったならよかったです」と言われた方、笑顔で手を振ってくださった方、涙が出そうでした。こんな学校があるでしょうか?この大きく尊い思いを感じとり、その思いに応えようと思ったのは私だけではありません。

職員室で何度も話題になっていました。本当にありがとうございました。



学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」 応援団長から一言！

「最高の思い出になった運動会」白組団長 森田 花

運動会では団長として白組全員をまとめて一生懸命にひっぱることができて団長の役目を果たせたと思います。最初は練習がうまくいかなかつたけれど、最後はみんなで協力して最高の運動会にできて良かったです。みんなたくさん声を出して、話も聞いてくれて一生の思い出に残る運動会になりました。

一緒に闘ってくれた紅組の皆さん、PTAの皆さん、先生方、運動会を無事に開いてください、ありがとうございました。この運動会を絶対に忘れません。ありがとうございました。

「がんばりました」赤組団長 小宮 瑞誠

今年の運動会では、応援団長として楽しく協力をしながら頑張ることができました。

その理由は先生たちやお母さん、お父さんの協力があったからです。

今年は運動会前日に雨が降って、乾くかなと心配をしていたら、お父さんたちや先生方が水を吸い取ってくれました。そのおかげで運動会をすることができました。

みなさん、ありがとうございました。

忘れ物・お届け物について「届け方」を変更します。

現在、お子さんの忘れ物については、おうちの方に事務室で「忘れ物」カードを記入していただき、事務室でお預かりしています。その後、事務職員がPHSで担任へお知らせして、本人に取りに来てもらうのですが、急ぐ場合や「〇時間目までに」といった指定がある場合、教室にいない場合、連絡しても取りに来ない場合などが多く、事務職員が学級まで届けることが多いのが現状です。

そのため、事務職員の本来の業務に支障が生じて困っています。

そこで、今後は、おうちの方に教室まで届けていただくように方法を変更します。

なお、不審者対策として事務室での受付は行っていただく必要がありますので、受付(記名)後、「保護者」であることを示す名札を付けて教室へお進みください。
※個別の事情がおありの場合は、受付時にご相談ください。

※名札をお忘れの場合は事務室で貸し出します。



ふれあい道徳の公開



佐賀県は、県内すべての公立小・中学校において、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開するとともに、各学校が自校の道徳教育の取組を紹介する「ふれあい道徳教育」を推進しています。本校でも年2回のフリー参観デーのどちらかで道徳の授業を開開することとしています。お子さんの学級がいつ公開なのかは、学級からのお知らせをお待ちください。本校では、いずれ出会うであろう葛藤場面で、人としてより良い判断ができるよう「自分ごととして考える」「多面的・多角的に価値を捉える」等を目指して授業を構成しています。

重要!

本格的な梅雨入りの前に…「車でのお迎えはお控えください」

もうすぐ本格的な梅雨の時期になります。学校サポーター(保護者)の皆様もご存じの通り、本校周辺は内水氾濫のためすぐ冠水し、冠水時は車での進入ができません。おうちの方へ引き渡しができないことから、危険な状況になる前に、安全に自宅に帰り着くよう下校時刻の繰り上げの判断をします。梅雨や台風など大雨のリスクが高まる出水期を前に、「保存版:風水害時の対応について」(桃色用紙)を今一度親子でご確認いただきますようお願いします(HPにも掲載しています)。

なお、最も困るのが学校へ車で迎えに来られることです。住宅密集地の中の学校であり、児童数も多いため、「うちくらい迎えに行っても大丈夫だろう」と考える方がおられると言つて間に校内は車で溢れ、徒歩で下校する子ども達との接触を招きかねません。また、近隣の大渋滞にもつながります。

ご心配は分かりますが、一斉下校の際は、教職員が引率し、要所に立って安全を見守りますので、車でのお迎えは厳に控えていただきますようお願いします。祖父母の皆様へもお伝えください。

※5月9日、急な雨雲の発達により6時間目をカットして下校時刻を早めました。改善点についてのご相談や情報提供はいただきましたが、約1時間前の変更にも関わらず、苦情は1件もありませんでした。学校サポーター(保護者)のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。